

MITSUBISHI

三菱電機 電気温水器 ダイヤホット

時間帯別電灯/深夜電力(8時間) 通電制御型

高圧力型 電気温水器

形名

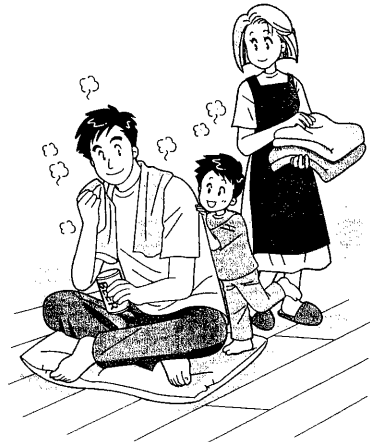
SRT-3766U (タンク容量:370L)

SRT-4666U (タンク容量:460L)

SRT-5566U (タンク容量:550L)

※リモコンが同梱されています。

取扱説明書



この温水器は、通電制御型なので申請によって料金割引が適用されます。ご不明な場合は、据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なお読みください。
- 保証書、据付工事説明書（チェックリストが入っています）、据付工事確認書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行ってください。その際、安全を確認するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- 他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書などを次の所有者の方へ渡してください。
- 「高圧力型」を事業者さまが事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の規程があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問合せください。（同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください。）

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

「高圧力型」とは

- 「高圧力型」は、「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。（通常使用圧力:85kPa→150kPa）
- 1階に据付けて2階でも使えるようになりました。（3階でも手洗い程度であれば使用できます。）

高圧力型電気温水器（小型温水ポイラー）に関する法令として以下のものがあります。

- 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- 労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）
- 労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
- ポイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

もくじ

ページ

ご使用前に

特長	2
●温水器のしくみ	
●万一のとき水が使えます	
●選べる電力制度	
安全のために必ずお守りください	3
ご使用にあたってのお願い	5
各部のなまえ	
●本体	6
●リモコン	7
準備	8
●時刻を合わせる	9
●タンクのわき上げ湯温を設定する	10

蛇口のお湯を使う

たくさんお湯を使う（わき増し）	11
-----------------	----

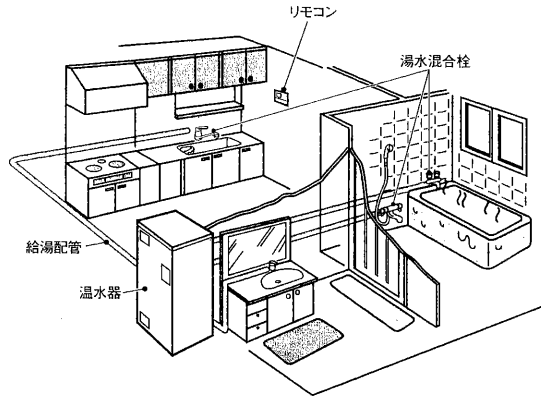
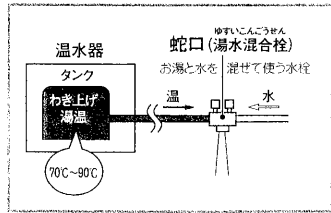
こんなとき

数日間 温水器を止めたいとき	12
長期間 使用しないとき	12
災害時などにお湯を取り出す	13
停電したとき	14
定期点検（有料）	14
日常点検とお手入れ	15
故障かな？	16
アフターサービス	18
仕様	裏表紙

特長

温水器のしくみ

温水器でわき上げたお湯は、配管を通して家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）にきます。水と混ぜて（湯水混合栓で混ぜる）お好みの温度で使用してください。



お知らせ

- 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によってタンクのわき上げ湯温より低くなることがあります。

万一のとき水が使えます (ウォーターストック)

断水時や地震などの万一の災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

※ご使用方は13ページをお読みください。
(操作方法は、本体の前面カバーにも貼ってあります。)



選べる電力制度

この電気温水器に適用できる電力制度は、時間帯別電灯と深夜電力とがあります。ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。

契約している電力制度と使える機能

機能	わき上げ	わき増し	契約の概要
電力制度	夜間時間帯にわき上げる (僅はかせません。)	お湯が満たら自動的に追加でわかす (僅はかせません。)	
時間帯別電灯	○	○	家庭の電気製品すべてに対して 夜間時間帯(23:00~7:00)は通常の1/3以下の割引料金、昼間時間帯(7:00~23:00)は通常の10%~30%程度の割増料金が適用されます。 ※割増の程度は、電力会社により異なります。
深夜電力	○	×	電気温水器のみ、 夜間時間帯(23:00~7:00)は通常の1/3以下の割引料金が適用されます。 (昼間時間帯は通電されません。)電気温水器以外の電気製品は、通常の料金が適用されます。

- 時間帯別電灯で使用する場合は、リモコンが必要です。
- 昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。
- 上記以外の電力制度については、電力会社または当社ご相談窓口(→19ページ)へお問合わせください。

安全のために必ずお守りください

- 使用前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。据付工事説明書も必ず据付工事店(販売店)から受け取ってください。

■ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■ 本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		アース線接続		感電注意
	分解禁止		指示にしたがう		高温注意
	接触禁止				発火注意

(本体表示)

警告

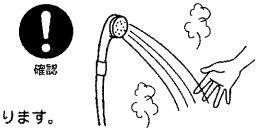
やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れない
- 排水時はお湯に手を触れない
- 逃し弁点検時は配管に手を触れない



入浴するときやシャワー使用時、台所や洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確認する

湯温を確認せずに浴槽につかったり、シャワーを浴びると、やけどをすることがあります。



近くにガス類や引火物を置かない



発火・火災になることがあります。

前面カバーを開けない (→6ページ)

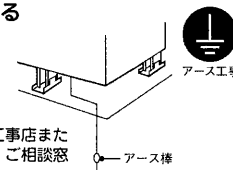


開けると、感電することがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へお問合せください。



改造をしない

(修理技術者以外の人は分解・修理をしない)

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



漏電遮断器の動作を確認する (→15ページ)



故障のまま使用すると、感電することがあります。

異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器のレバー(→6ページ)を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



ご使用前に

安全のために必ずお守りください (つづき)

⚠ 注意

そのまま飲用しない



長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。



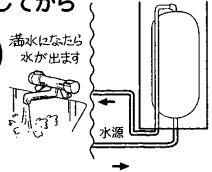
通電はタンクを満水にしてから行う (→8ページ)



満水はなたら水が出ます

満水確認

タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

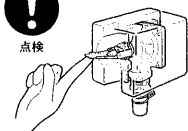


逃し弁の点検をする (→15ページ)



点検

点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

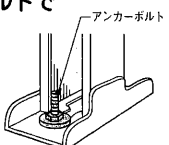


脚(3カ所)がアンカーボルトで固定されているか確認する



確認

固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

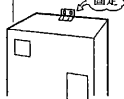


2階以上に据付けた場合、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する



確認

固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

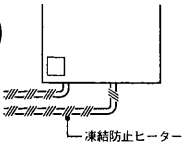


凍結防止対策の確認をする (→5ページ)



確認

凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。



タンクの熱湯を直接排水しない (→12ページ 手順2)



禁止

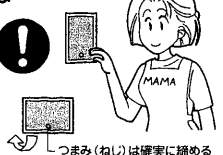
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。



操作カバー・操作窓は閉じる (→6ページ)



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら(髪を洗っているときは止めましょう。)
- 洗いのをすするときも止めながら



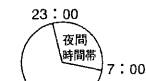
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。特に「高圧力型」は、お湯の勢いがよく快適ですが、その分、お湯が出る量も多くなっています。(「標準圧力型」よりも約20%程度多くなります。)

夜間時間帯の入浴について

この温水器は、夜間時間帯(リモコンに「通電中」が表示されているとき)にお湯をわかしますので、この時間にはなるべく入浴しないようにしてください。夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなったり、お湯がたりなくなったりする場合があります。



お風呂は夜の11時までに。



夜間時間帯は、地域によって異なります。

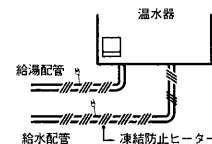
凍結防止をする

各配管に保温工事があっても、冬季は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。)据付工事店へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

- お願い ●配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときには、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。(凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。)



契約している電力制度を確認する

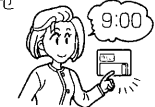
契約している電力制度によって一部ご利用いただけない機能[®]があります。(→2ページ) 契約の電力制度を据付工事店(販売店)にご確認ください。



※深夜電力制度でご契約のお客さまは、わき増し機能(→11ページ)をご利用できません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、時刻を合わせ直してください。(→9ページ)



時間帯別電灯料金制度を使用されている場合、時刻がずれていると、タンク内をわか上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

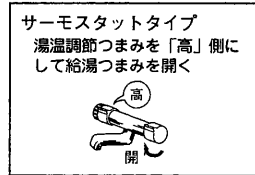
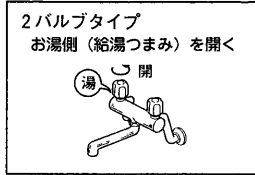
使用前の

準備

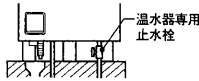
使い始めは、次の手順で操作します。

1. 温水器のタンクを満水にする

- ①タンク内の空気を抜くために、家中の蛇口（湯水混合栓のお湯側）を開く（1カ所）
操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。



- ②温水器専用 止水栓を開いてタンクに水を入れる
タンクが満水になると蛇口から水がでます。満水までの目安は約30分です。
(配管や水源水圧によって多少異なります。)



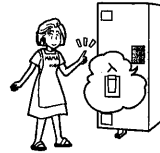
- ③満水になったら、①で開いた蛇口を閉じる
(温水器専用止水栓は、閉じないでください。)

2. 温水器の電源を入れる

- ①200V電源ブレーカーを「入」にする
(または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする)



- ②漏電遮断器の電源レバーを「入」にする(→6ページ)



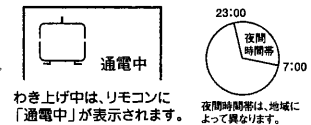
注意
通電はタンクを満水にしてから行う

3. タンクのわき上げ湯温設定をする

- ①時刻を合わせる (→9ページ)
②タンクのわき上げ湯温を設定する (→10ページ)



夜間時間帯(→5ページ)にお湯をわき上げます。



お知らせ 時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。

4. お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。

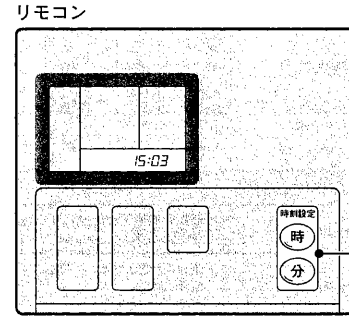
やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。



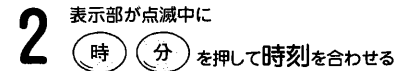
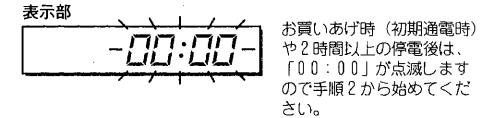
警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

時刻を合わせる

温水器を使うためには、まず時刻を合わせてください。
時刻を設定しないと、「わき上げできない」場合があります。
また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。



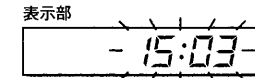
必要な箇所を表示してあります。



「時」を押すと1時間ずつ、表示部の数字が進みます。

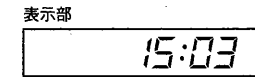
「分」を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。

スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。



(例) 午後3時3分

約10秒間経過すると時刻が点灯して時刻設定が完了します。



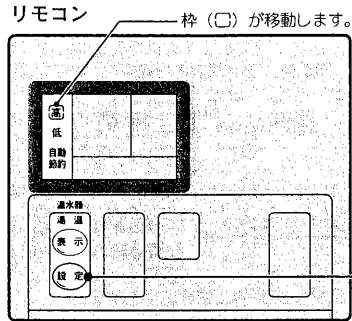
お願い ●時計の時刻は温度変化や停電などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。また、2～3カ月に一度は時刻が合っているかご確認ください。

●約2時間以上の停電があった場合や長時間電源を「切」にしていた場合、表示部は「00:00」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。わき上げできない場合があります。(→14ページ)

お知らせ ●時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。

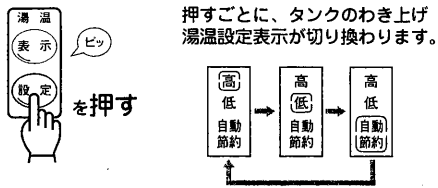
タンクのわき上げ湯温を設定する

温水器を使うためには、タンクのわき上げ湯温を設定してください。
 通常は（使いはじめは必ず）、湯切れ防止のため「高」に設定してご使用ください。
 お湯の使用量が少ない場合は、省エネのために「自動節約」または「低」にしてください。



必要な箇所を表示してあります。

お買上げ時の設定 …高
 設定できる温度 …高/低/自動節約

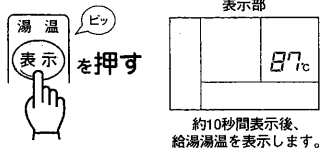


わき上げ湯温設定表示	わき上げ湯温(目安)	長所・短所
高	約 90℃	• 最高の湯温でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。
低	約 70℃	• 余分にわき上げないので省エネ効果があります。 • 湯切れの心配があります。
自動節約	冬期…約 80~90℃ 春秋期…約 75~90℃ 夏期…約 70~90℃	• 効率よくわき上げるので省エネ効果があります。

- お願い**
 - わき上げ湯温を「低」または「自動節約」で設定している場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に、「高」に設定してください。
- お知らせ**
 - 「自動節約」では、過去1週間の使用量と給水水温から翌日の使用量を予測して、約70℃~約90℃の範囲でわき上げ湯温を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。

タンクのわき上げ湯温を表示する

温水器のタンク内上部の湯温を表示します。



約10秒間表示後、給湯湯温を表示します。

- お知らせ**
 - タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、設定湯温よりも低く表示されることがあります。（通常、湯温の低下は、1時間に約0.5℃~1℃程度ですが、寒冷地ではそれ以上低下します。）

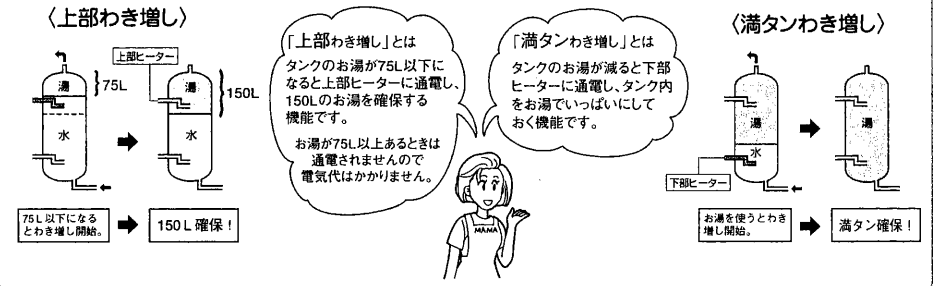


「時間帯別電灯」でご契約のお客さま (→2ページ)

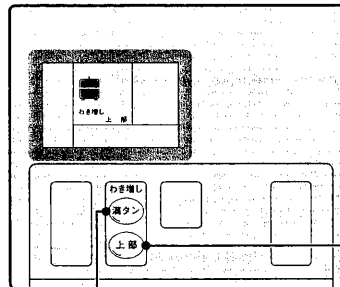
たくさんお湯を使う (わき増し)

「わき増し」とは、お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
 通常は「上部わき増し」に設定してご使用ください。来客などでさらにたくさんのお湯が必要なときは「満タンわき増し」に設定してください。
 (「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。)

わき増しのしくみ



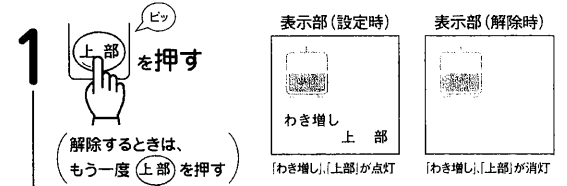
リモコン



必要な箇所を表示してあります。

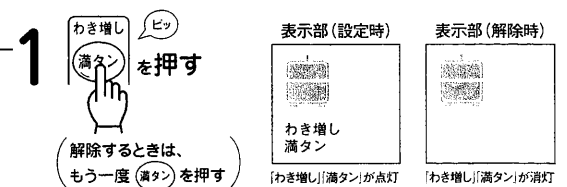
〈上部わき増し〉

お湯がたりなくなるのを防ぐため、設定した状態でご使用することをおすすめします。(設定後は、解除するまで継続します。)



〈満タンわき増し〉

必要に応じて設定します。設定したその日(7:00~23:00)は何回でもタンク全体のわき増しを行います。(23時になると自動的に解除されます。)

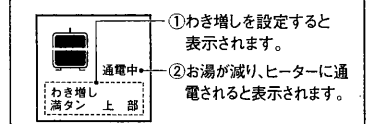


お買上げ時の設定…上部わき増しのみ
 時間帯別電灯の場合、最初に電源を入れてから約24時間後に「上部わき増し」が自動的に設定されます。

- お知らせ**
 - わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割増になります。(→2ページ)
 - 「上部わき増し」と「満タンわき増し」を同時に設定されたときは「満タンわき増し」を優先します。
 - わき増しの場合も、10ページで設定した湯温にわき上げます。



わき増し使用時の表示部



- ① わき増しを設定すると表示されます。
- ② お湯が減り、ヒーターに通電されると表示されます。

蛇口のお湯を使う

数日間 温水器を止めたいとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、温水器のわき上げを停止させることができます。

わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

出発日(10月1日)に停止日数「03」を設定 (1日、2日、3日の昼間の使用を止めるため)
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

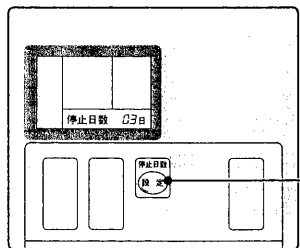
〈予定日より早く帰宅した場合〉

まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。
「時間帯別電灯」でご契約のお客さまは、わき増し(→11ページ)を使用してください。

お知らせ

- 連続停止(---)を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 停止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。(連続停止(---)が表示されているときは除く。)

リモコン



必要な箇所を表示してあります。

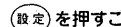
お買上げ時の設定…なし
設定できる範囲…2日~15日/連続停止

1か月以上使用しない場合は、以下の方法で停止してください。



停止日数設定を押す

(設定する日数が表示されるまで押します。)



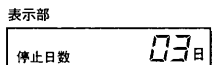
設定を押すごとに表示部の停止日数が進みます。

スイッチを押し続けると、連続して進みます。取り消すときは「現在時刻表示」にします。

2日 3日 連続停止
02 → 03 → … → 14 → 15 → --- → 現在時刻表示

解除するとき

「現在時刻表示」になるまで、停止日数スイッチを押す



表示部

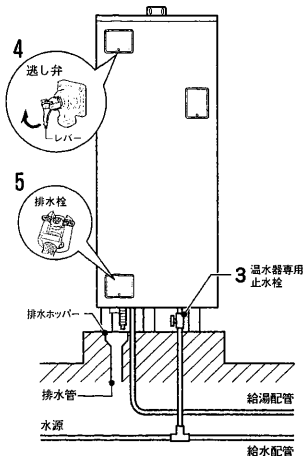
停止日数 03日

長期間 使用しないとき

1か月以上、温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

注意

- 1か月以上使用しないときは、タンクの水を抜く(水質変化の原因)
- タンクの熱湯を直接排水しない(やけど、排水管などの破損の原因)



- 1 電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする
電気の供給を停止します。(あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。)
- 2 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
熱いお湯が出なくなったら湯水混合栓を閉めてください。
●お願い ●排水配管の破損を防ぐために、お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。
- 3 温水器専用止水栓を閉じる
温水器(タンク)への給水を止めます。
- 4 逃し弁のレバーを上げる
タンクへ空気を取り入れます。
- 5 排水栓を開く
タンクの水(お湯)を抜きます。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

警告
排水時は、やけどに注意する



お願い

- 排水が完全に終わってから排水栓を閉してください。

再び使用するとき

逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていることを確認してから準備(→8ページ)の手順を行なってください。

災害時などにお湯を取り出す

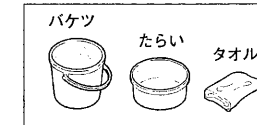
断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。(操作方法は、本体の前面カバーにも貼ってあります。)



「4」非常用取水栓から取るのよ。

準備するもの

■バケツ(たらい)、タオル

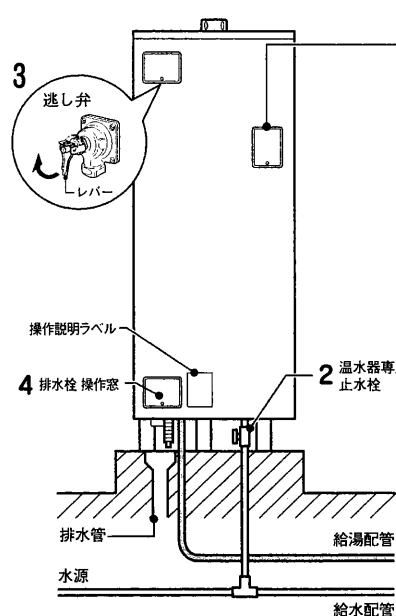


お知らせ

- 非常用取水ホースは、本体の内部(前面カバーに沿って)に収納されています。

お願い

- 取水時は、他のホースが抜けないように注意してください。

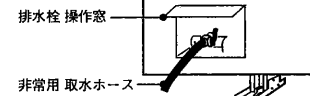


1 漏電遮断器の電源レバーを「切」にする
電気の供給を停止します。

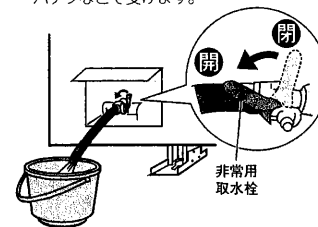
2 温水器専用止水栓を閉じる
温水器(タンク)への給水を止めます。

3 逃し弁のレバーを上げる
タンクへ空気を取り入れます。

4 非常用取水ホースを排水栓操作窓から出す



5 非常用取水栓を開く
タンクの水(お湯)を取り出します。
バケツなどで受けます。



警告

取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯(最高90℃)が出る場合があります。

お願い

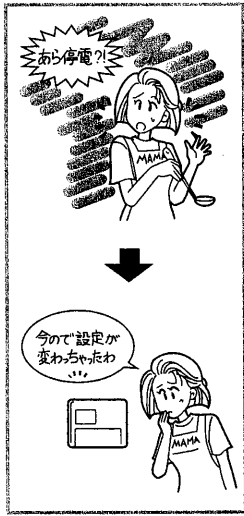
- 取水が終わったら非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げてください。

再び使用するとき

逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、準備(→8ページ)の手順を行なってください。

停電したとき

この温水器は、約2時間のメモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、お客さまが設定した「時刻」や「わき上げ湯温」などは失われずに済みます。ただし、長時間の停電の場合は、初期設定に戻りますので次の処置をしてください。



長時間停電すると (約2時間以上)

機能	初期設定に戻る	処置
時刻	「00:00」の点滅	必ず時刻を合わせ直してください。時刻を合わせないと、「わき上げできない」場合があります。また、正しい時刻に合わせないと、電気料金が割高になる場合があります。
わき上げ湯温	「高」	ご利用のわき上げ湯温に設定し直してください。
上部わき増し	設定(セット)*	上部わき増しの必要がないときは、解除してください。
満タンわき増し	解除	満タンわき増しを使用するときは、再度、設定し直してください。
停止日数	解除	再度、設定し直してください。

*時間帯別電灯の場合、最初に電源を入れてから約24時間後に「上部わき増し」が自動的に設定されます。

お知らせ ●時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることができます。

温水器のわき上げ

夜間時間帯に停電が発生した場合

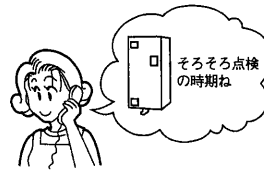
- 短時間の場合、停電終了後すぐに、温水器(ヒーター)に通電され、わき上げを行います。
- 2時間以上続いた場合は、停電終了後、温水器の湯温設定が「高」になりわき上げをばしめしますが、時間がたりにく設定したわき上げ湯温までわき上がらない場合があります。

定期点検 (有料)

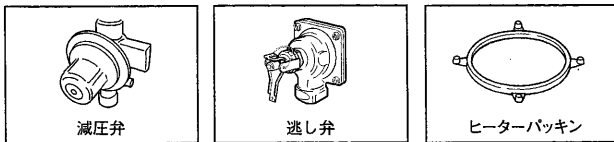
電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、3~4年に1度定期点検(有料)を行なってください。定期点検については、据付工事店(販売店)または「三菱電機 ご相談窓口」(→19ページ)へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な内容

項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品(配線、導通、動作の確認)、弁類(減圧弁、逃し弁)などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃(沈殿物の除去など)



消耗部品 以下の部品は消耗部品です。



お願い ●減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンの交換時は、当社純正品をご指定ください。

日常点検とお手入れ

日常のお手入れ：本体、リモコンのお手入れ

本体やリモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



お願い ●ベンジンやシンナーなどの化学薬品やアルコールは、使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2~3回程度：漏電遮断器の動作点検

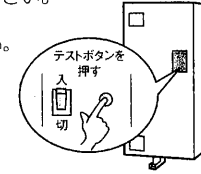
漏電遮断器の点検は、200V電源供給中に行なってください。

- 時間帯別電灯でご契約の場合…いつでも点検できます。
- 深夜電力でご契約の場合…夜間時間帯に点検を行なってください。

①テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

②必ず電源レバーを「入」に戻す



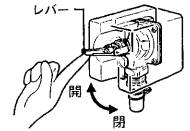
警告
漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

1年に2~3回程度：逃し弁の点検 (各部のなまえ：→6ページ)

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検…レバーを上げ、水(お湯)が排水口から出ることを確認する

水(お湯)が出れば正常です。水(お湯)が出ない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店にご連絡ください。動作確認後は必ずレバーを下げてください。



水漏れ点検… わき上げをしていないとき(リモコンに「通電中」が表示されていないとき)、排水口から水(お湯)が出ていないかを確認する

水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。

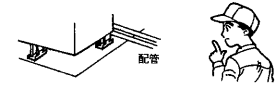
警告
点検時は、配管に手を触れない(やけどの原因)

注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

お願い ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)

1年に2~3回程度：配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。



お願い ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

注意
配管を点検する
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

1年に2~3回程度：タンクのお手入れ

①排水栓を約1~2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる

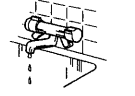

汚れが多い場合は、数回繰り返します。



警告
排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

故障かな？

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い 	温水器専用止水栓が閉まっている	閉じていれば開いてください。
	断水している (蛇口から水がでますか?)	断水が終るまで待ってください。
	配管が凍結している	凍結していた場合は、温水器専用止水栓を閉じて 掘削工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯がわかない お湯が足りない 	リモコンが接続されていない	掘削工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンの時刻表示部が点滅している	時刻を設定してください。(→9ページ)
	リモコンの停止日数が表示されている	停止日数を解除して、わき増しを利用してください。(→12ページ)
	電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	本体の漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。 2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま掘削 工事店(販売店)へご連絡ください。
	わき上げ湯温設定が低い	「低」の場合は「高」へ設定を変えてください。
	リモコンに「通電中」が表示されて いないときに、排水口から、お湯(水) が出ている	逃し弁の点検を行なってください。(→15ページ) 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁または 缶体保護弁の故障が考えられますので掘削工事店(販売店) へご連絡ください。
	リモコンに「通電中」が表示されて いるときに、お湯をたくさん使用した (特に夜間時間帯)	わき増し(→11ページ)を利用してください。
	いつもに比べてお湯をたくさん 使用した	わき増し(→11ページ)を利用してください。 翌日の使用湯量が多くなると予測できるときは、あら かじめわき上げ湯温の設定を上げてください。
	電力制度の契約が「深夜電力」 契約になっている	わき増しを利用できません。 電力制度の契約については電力会社へご相談ください。
排水口から 水が出ている	逃し弁、減圧弁または缶体保護弁の 故障です。 逃し弁の点検を行なってください。(→15ページ) 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁または 缶体保護弁の故障が考えられますので掘削工事店(販売店) へご連絡ください。	

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」(→18ページ)へご相談ください。

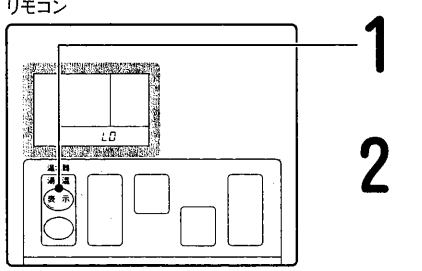
こんなときは故障ではありません

排水口からお湯が出ている リモコンの「通電中」が表示されているときは、水をお湯にわき上げていますので、体積が増えた分を逃し弁から排水しています。	設定したわき上げ湯温までわき上がらない 以下のことを行くと、設定したわき上げ湯温までわき上がらない場合があります。 ①リモコンに「通電中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②夜間時間帯にわき上げ湯温の設定をかえた場合 (「低」→「高」または「自動節約」→「高」) ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下 ●残湯量…20L未満
お湯が白く濁って見える 水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出でる現象です。少し時間をおくと消えます。	
お湯から油がでる、お湯が臭い 初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。	
ヒーターにすぐに通電されない 給水水温が高い場合や湯温設定が「低」のときは、夜間時間帯になってからすぐに通電しません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークカット機能)	

お湯がたりなくなったときに温水器を診断する(自己診断モニター機能)

お湯の量がたりなくなったとき(設定したわき上げ湯温までわき上げできなかったとき)、次の操作で原因を調べることができます。

リモコン



1 温水器「表示」を5秒以上押す

表示例) L0
約10秒間、「湯量不足の原因」が表示されます。(下表)

2 L0~L3が表示中に もう一度 温水器「表示」を押す

表示例) 5時間
約10秒間、「昨夜のわき上げ時間」が表示されます。

必要な箇所を表示してあります。

表示	診断結果
L0	わき上げは完了しています。昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。(掘削工事直後や2時間以上の停電後は、わき上げが完了していないため表示されます。)
L1	給水水温が低く、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。
L2	夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。
L3	夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。

時間帯別電灯でご契約のお客さまは、お湯が足りなくなった場合は「わき増し(→11ページ)」を利用してください。
深夜電力でご契約の場合は、わき増しが利用できません。時間帯別電灯に契約を変更すれば、わき増しを利用し、お湯の不足が解消できます。電力制度の契約については、掘削工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合の処置

表示	原因(症状)	処置
U1	深夜電力が供給されていません。	電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま掘削工事店(販売店)、または「三菱電機 修理窓口」(→18ページ)へご連絡ください。
F7	タンクに水が供給されていません。8ページの手順でタンクを満水にしてください。(断水時や配管凍結時も「F7」が表示されます。)	
E0, E1, E2, P6, P7, H1, H3	温水器の異常です。	電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にして掘削工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(→18ページ)へご連絡ください。

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのこと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書、明細書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間…お買上げ日から2年間です。ただし、タンクは5年間、発熱体（ヒーター）は3年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

◎「故障かな？と思ったら」（→16ページ）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

◎保証期間中は修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎修理料金は技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

◎ご連絡いただきたい内容

- 品名：三菱 電気温水器
- 形名：本体右下に表示してあります。
- お買上げ日：年月日
- 故障の状況：できるだけ具体的に
- お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内 (家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは



修理窓口へ

その他のお問い合わせは



ご相談窓口へ

修理窓口 電話受付：365日24時間

北海道地区	
札幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	室蘭 (0143) 45-5781 室蘭市東町 1-17-19
旭川 (0166) 26-5580 旭川市曙1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北見 (0157) 25-7045 北見市柏崎町 577-80	小樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函館 (0138) 49-0345 函館市西栢根町 589-57
帯広 (0155) 35-3111 帯広市西13条北 4-1-13	

東北地区	
青森 (017) 773-8381 青森市大字野水字野尻 37-184	秋田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
弘前 (0172) 32-6535 弘前市大字青山 4-20-3	横手 (0182) 32-1785 横手市知町 3-2
八戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下電子谷地 6-8	大館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
むつ (0175) 22-3277 むつ市横迎町 2-11-7	山形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
盛岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	酒田 (0234) 35-8230 酒田市上安町 1-11-11
水沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3	鶴岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
釜石 (0193) 23-4611 釜石市定内町 3-10-1	米沢 (0238) 37-5554 米沢市中田町 742-8
仙台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町 2-18-23	福島 (024) 534-7123 福島市朝山字甲中 58
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2	郡山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
石巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-288	会津 (0242) 27-4426 会津若松市天寧寺町 3-7
古川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1	原町 (0244) 24-2842 原町市桜井町 1-173
	いわき (0246) 26-1822 いわき市内郷聯合堤町環巻 75-8

KOOB

首都圏地区	
東京都・神奈川県・千葉県 茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県	
フロントセンター東京	電話 (03) 3424-1111 FAX (03) 3424-1115 東京都世田谷区池尻 3-10-3

甲信越地区	
新潟 (025) 274-9165 新潟市竹尾卸新町 752-9	長野 (026) 221-3232 長野市福葉 904
長岡 (0258) 23-3323 長岡市南陽 1-1118-1	松本 (0263) 27-2461 松本市芳川野溝 531
上越 (0255) 24-1160 上越市春日山町 3-6-3	飯田 (0265) 52-5396 飯田市上機別府 3367-1
	山梨 (055) 222-2711 甲府市下飯田 1-4-11

東海・北陸地区	
愛知県 フロントセンター名古屋 電話 (052) 721-0131 FAX (052) 721-7268 名古屋市中区矢田南5-1-14	
沼津 (0559) 22-7111 沼津市若葉町 20-1	四日市 (0593) 47-0621 四日市市日永 5-7-16
静岡 (054) 284-0821 静岡市中原 913	松阪 (0598) 29-7664 松阪市久保町字猿桑 682-7
浜松 (053) 463-8455 浜松市上西町 62-5	富山 (0766) 56-0121 射水郡小杉町青井谷 1-1-1
岐阜 (058) 275-0909 岐阜市中鶴 3-24	金沢 (076) 252-8133 金沢市小坂町西 97
中津川 (0573) 65-6646 中津川市駒場字町裏 526-2	福井 (0776) 22-6340 福井市間屋町 1-19
高山 (0577) 33-7410 高山市冬頭町 981-5	

関西地区	
大阪府・奈良県・和歌山県（田辺・新宮を除く） 兵庫県（阪神・淡路地区）・京都府（畿北を除く） フロントセンター関西 電話 (06) 6454-3901 FAX (06) 6454-3900 大阪市北区大淀中 1-4-13	
滋賀 (077) 552-4058 栗太郡栗東町安養寺 2-4-25	豊岡 (0796) 24-6360 豊岡市中條 376
畿北 (0773) 23-5960 福知山市原中町 61	田辺 (0739) 23-1109 田辺市福成町字西沖代79-7
姫路 (0792) 94-3383 姫路市柄杓 98	新宮 (0735) 22-2495 新宮市池田 3-1-31

◎所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

中国・四国地区	
広島県・山口県・島根県・鳥取県・岡山県 香川県・徳島県・高知県・愛媛県	
中・四国CSセンター	電話 (082) 890-6365 FAX (082) 890-6367 広島市南区大洲 4-3-26

九州地区	
福岡 (092) 412-5333 福岡市博多区豊 1-9-13	熊本 (096) 380-0211 熊本市石原町 326-1
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区路和 2-5-25	八代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20	大分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
佐賀 (0952) 31-4189 佐賀市鍋島町大字八戸溝348-2	宮崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田150-11
唐津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50	延岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
長崎 (095) 843-0622 長崎市大橋町 23-4	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市本原町 155-1	沖縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問い合わせは

三菱電機お客さま相談センター 365日
24時間

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

▼全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル

0120-139-365 (通話料金無料)

いっしょにワンキュー 365日

☎通常電話番号（携帯電話・PHS対応）03-3414-9655

当社家電品についてのご意見やご要望は
地区お客さま相談室
(月～金曜日 9:00～17:00 祝祭日を除く)

北海道 (011) 893-1313 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東北 (022) 231-8282 〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏 (03) 3414-9722 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
中部 (052) 972-7222 〒461-0005 名古屋市中区東横 1-4-3
北陸 (076) 252-1356 〒920-0811 金沢市小坂町西 81
関西 (06) 6451-3611 〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-4-13
中国 (082) 278-1322 〒733-0833 広島市西区南工センター 6-2-17
四国 (087) 879-1190 〒761-1705 香川県香川町大字川東下 717-1
九州 (092) 571-2211 〒816-0088 福岡市博多区板付 4-6-35


こんなとき

KOOB

仕様

形名	SRT-3766U	SRT-4666U	SRT-5566U
ボイラー区分	小型温水ボイラー		
適用電力制度	時間帯別電灯/深夜電力(8時間) 通電制御型		
設置場所	屋外(屋内設置可)		
タンク容量	0.37m ³ (370L)	0.46m ³ (460L)	0.55m ³ (550L)
定格電圧	単相200V		
発熱体	上部	5.4kW	6.4kW
	下部	5.4kW	6.4kW
消費電力	約5W(通常時)/約9W(最大時)		
制御用	凍結防止ヒーター		
	約13W(5±3℃ ON、15±3℃ OFF)		
標準消費電力量*	約34kWh/日	約42kWh/日	約50kWh/日
外形寸法	高さ	1900mm	2200mm
	奥行き	730mm	790mm
	幅	630mm	690mm
製品質量	本体	約75kg	約92kg
	満水時	約445kg	約642kg
最高使用圧力	170kPa(逃し弁設定値)		
最高使用圧力	150kPa(減圧弁設定値)		
通常使用圧力	漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁		
リモコン(同梱)	縦120mm 横140mm 厚さ22mm		

*標準消費電力量は、わき上げ温度90℃、給水温度15℃の条件でタンク内全量を1回わき上げたときの値です。

	愛情点検	★長年ご使用の温水器の点検を!	●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●設置場所が濡れている。 ●お湯が早くなる。 ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。 	ご使用中止

製品形名<製造番号>	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
SRT- < >	
お買上げ日	
年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。



群馬製作所 〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800
電話番号 0276-52-1111 (代表)